

# 人材確保育成など注力

## 群馬建協 青柳会長を再任



群馬県建設業協会（青柳剛会長）は21日、前橋市の群馬建設会館で2021年度定時総会を開き、任期満了に伴う役員改選で青柳会長を再任した。21年度の行動指針では昨年度の行動指針をさらに進め、「UP DATEする地域を守る建設業の3つの備え」を掲げ、人材確保育成、生産

性向上、災害対応組織力に注力する。

総会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会員の出席はほとんどが委任状で、各支部の代表者などを会場出席とした。総会はユーチューブで全国建設業協会、関東地方整備局高崎河川国道事務所、会員企業に、理事会は会議システムwebexで協会12支部に配信した。

開会に当たり青柳会長は「行政の指導に応え、地域住民と一体になり、それぞれの協会員が問題意識をもって、協会の21年度がスタートする

ことを心からお願います」とあいさつした。写真。

人材確保育成では女性の視点で快適職場（GKG活動）、週休2日制、時間労働の解消といった働き方改革を進める。生産性向上に向け、デジタル化の促進、リカレント教育の実施（3～5年次技術者教育）、直轄工事の採算性アンケート、3密対策を踏まえた現場品質管理に取り組む。

災害対応組織力として、新型コロナウイルス対策や、CSF/豚熱などの防疫対策、「限界工事量」理念の共有促進、事業量確保のための要望・提言活

動、除雪業務体制の確立などを進める。

再任が決まった青柳会長は「リスクは変革を加速化していく」と言うが、「同時に過去を振り返り、『背中から前に向かっていく感覚』を大事にしていきたい」と思っている。

建設業で働く人たちが『建設業協会に入っていてよかったと実感できる建設業』を目指して協会の運営・活動をしていきたい」と決意を語った。

今回の役員改選では前橋支部長に泉野建設の泉野高志代表取締役、渋川支部長に勝野建設の勝野政和代表取締役、富岡支部長に上原建設の五十嵐修代表取締役が新たに就任した。また、協会アドバイザーとして初めて、藤塚永治常務理事が専務理事に昇格した。後任の常務理事には、群馬県庁OBの若田部純一氏が就いた。

## CCUSの専門部会設置

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は、技能者の処遇改善に向けた取り組みを一層推進するため、新たに「人材確保育成・キャリアアップシステム推進特別部会」を設置する。また、国土交通省と日本建設業連合会など4団体が申し合わせた、おおよ

### 群馬建協

ね2%以上の技能者賃金上昇の実現について、群馬建協としても追隨する姿勢を明確に打ち出した。21日に開いた2021年度定時総会で示した行動指針に盛り込んだ。

同特別部会では、建設業の人材確保の方策、技術者・技能者

### 技能者賃金2%以上上昇実現に本腰

の育成、若い技術者・技能者のキャリアパスが描ける方策、外国人労働者の雇用・就労環境、建設キャリアアップシステム（CCUS）の拡大策を検討する。

部会は総務企画委員会の下に設置し、構成メンバーは各支部から1人ずつ計12人で、部長は互選で決定する。必要に応じ、国や県の機関からオブザーバーを招請できる。今後は部会設置決定後、速やかに1回目の会合を開き、21年度に3回程度開催する。

群馬建協沼田支部では既に、独自の費用助成により、会員21社すべてが2月までにCCUSの事業者登録を完了している。

青柳会長が社長を務める沼田土建（沼田市）では、技能者の登録料を直接補助する試みを5月から始め、今後は沼田支部にも拡大する見通しとなっており、地域全体でCCUS普及・定着への取り組みが加速している。

また、設計労務単価の引き上げに向け、行政には公共工事の増加傾向の堅持や適正な予定価格の設定、ダンピング（過度な安値受注）対策の強化を要望していく。元請けとしては、官民の発注問わずダンピングを厳に慎み、下請けの見積もりを尊重。専門工事業には技能者の賃金を上げ、それを見積もりで請求するよう求める。

群馬建協

# 処遇改善へ特別部会

## 人材育成とキャリアアップ推進

群馬県建設業協会（群馬建協、青柳剛会長）は21日、前橋市内で開いた定時総会で「人材確保育成・キャリアアップ推進特別部会」の設置を決めた。技能者の処遇改善を進める取り組みの一環。総務企画委員会の傘下で、建設業の人材確保策、技術者・技能者の育成、建設キャリアアップシステム（CCUS）の普及策などを検討する。Ⅱ4面に関連記事

2021年度の行動指針の一つに「人材確保育成」を定めており、処遇改善を進めながら、「協会活動のアップデート」（青柳会長）を象徴する取り組みとして設置を決めた。部会は、各支部の代表者12人で構成。国や県からオブザーバーを招くことを視野に入れている。若い技術者・技能者が将来のキャリアパスを描くための方策や、外国人労働者の雇用・就業策なども検討する。

CCUSを巡っては、沼田支部の全会員が事業者登録を完了させるなど、各支部の動きが活発化している。群馬建協は21年度も会員企業と技能者の登録を推進する考え。賃金上昇につながるのと見て、入っただけで良かったと実感できる建設業の環境整備を推進する。

# 地域建設業をアップグレード

## 群馬建協 青柳会長を再任

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は21日に前橋市の群馬建設会館で定時総会を開き、任期満了に伴う役員改選で青柳会長が続投する人事と2021年度の事業計画、予算を承認した。

「UP DATEする地域を守る建設業の『3つの備え』」として、人材確保

成、生産性向上、災害対応組織力を行動指針に掲げて活動。技能者賃金の2%アップ、建設キャリアアップシステム（CCUS）の登録・普及などに取り組み。

### || 1面参照

定時総会では、技能者賃金を巡る赤羽一嘉国土交通相と建設関係団体の協議を踏まえた賃金の引き上げに向け、官民の工事を問わずに「ダンピングを厳に慎む、



下請の見積もりを尊重」することを会員企業に呼び掛けた。公共工事設計労務単価の上昇につながる取り組みも求め、CCUSに関する対応を進める「人材確保育成・キャリアアップ推進特別部会」の設置などを決めた。理事の選任で清野哲哉専務理事が退任し、藤塚永治常務理事が専務理事に

昇格する人事も決めた。

青柳会長 || 写真 || は、オンラインと現実を組み合わせた活動の必要性を強調。その上で「団体が形を変えながらいっそつまとまるか、元の状態になるのをじっと待っているだけの緩い組織になってしまいか、正念場な気がする。協会に入っていて良かったと実感できる建設業を目指して運営、活動したい」とあいさつした。総会には群馬県の山本一太知事が「(建協は)県の良きパートナー」と発言したビデオメッセージを寄せた。



# 人材確保を積極推進

協 建 協  
会 時 定  
群 馬 県 建 設 業 協 会

## 労務単価上昇目指す

### 青柳会長の続投決まる

群馬県建設業協会（青柳剛会長）は21日、建設会館で定時総会を開催した。役員改選の年に当たり、青柳会長の続投が決まった。行動指針は「人を育て 生産性を高め 災害に備える建設業協会」とし、新たな取り組みとして（仮称）人材確保育成・キャリアアップ特別部会を設けるなど、人手確保に向けた取り組みを積極的に進める。また、公共工事設計労務単価2割上昇を目指し、会員各社に具体的な行動を促した。



青柳会長

青柳会長は再任時のあいさつで「団体活動が新型コロナウイルス対策を契機に変化している。今後、活動の形を変えながら一層まとまっていくのか、元の状態になるのを待っているだけの緩い組織になっていってしまうのか、正念場の時代だと思っている。会員の皆さんの協力を得ながら建設業で働く人たちが建設業界に入っ

てよかったと実感できる建設業を目指したい」と決意を述べた。

新たな行動指針を受け、取り組みをさらに加速させるため「UP・D・ATEする地域を守る建設業の備え」として人材の確保育成と生産性の向上と「災害組織力」を展開する。

人材確保育成・キャリアアップ特別部会はそのうちの新たな取り組みとなる。同部会は各支部から1人ずつの計12人で構成する。

人材確保のための方策や育成などの基本的な事項から、若手技術者・技能者がキャリアパスを插けるようになるための方策、外国人労働者の雇用・就労環境などの問



総会が行われた

題、建設キャリアアップ拡大策などについて検討システム（CCUS）のを行うこととなる。青柳

会長は同部会について「自然災害や新型コロナウイルスなど突発的なことに力を入れてしまいがちだが、人材確保などの課題に対して長期的に取り組むことが大切。特にCCUSは新3K実現のカギともいえる。地域がこうした活動を広げていかなければいけない」と期待を寄せた。

また、公共工事設計労務単価の引き上げに対しては9年連続で上昇しているものの、21年度は新型コロナウイルスの影響を考慮しての単価据え置きだったとし、賞金引き上げの流れを再加速するための行動を促す。

具体的には公共工事増加傾向の堅持、適正な予定価格の設定、ダンピング対策強化などを行政に要請。元請けは、個々の企業が自覚を持ち、官民発注を問わずにダンピングを慎む、下請け見積りを尊重するなどの行動に

取り組むとした。また、専門工事については、技能者賃金を上げ、見積もりで請求することなどとしている。

このほか、20年度から継続して生産性向上のためのデジタル化促進やリカレント教育の実施、ICT活用研修会などの活動や災害対応組織力を維持するための限界工事量の理念共有促進なども推進する。

役員改選に当たり、新たに副会長（前橋支部長）に泉野高志氏が就任。また、常任理事（渋川支部長）は勝野政和氏、常任理事（富岡支部長）へ五十嵐修氏が就いた。

## 青柳会長を再任

### 県建設業協会

県建設業協会は21日、前橋市の群馬建設会館で定時総会と理事会を開き、会長に沼田土建社長の青柳剛氏(71)を再任した。青柳氏は7期目となり、任期は2年。

青柳会長は再任のあいさつでコロナ禍や業界を取り巻く課題に触



議

あいさつをする  
青柳会長

れ、「リスクは変革を加速化させるが、過去を振り返りながら前に向かっていく」と述べた。

本年度は、新たに人材確保育成・キャリアアップ推進特別部会を協会内に設置する。高齢化が進む建設業界で若い人材などの確保や育成、技能者の処遇改善を具体的に検討していく。